



校長室だより

第4号

やさしい子

かしこい子

たくましい子

平成28年7月13日

体験学習 スチューデントシティ

7月5日（火）5・6年生は沖野小学校の6年生と一緒に、スチューデントシティでの学習を行いました。これは、中東のカタール国からの復興支援を受け、平成26年8月、仙台駅前のAER（アエル）8階に街を再現し、社会や経済の仕組みを体験する学習施設「仙台子ども体験プラザ - Elem」で行われている学習です。小学生用の「スチューデントシティ」と中学生用の「ファイナンスパーク」という2つのプログラムを授業の一環として実施し、将来を担う子どもたちに「生きる力」を身に付けることを目的に行われています。



子どもたちは事前学習を8時間行ってから体験学習に参加します。スチューデントシティには、再現された店舗・事業所が全部で11あります。仙台市役所、アイリスオーヤマ、菓匠三全、河北新報、クオール薬局、七十七銀行、セコム、ゼビオ、東日本電信電話、ヤマト運輸、ローソンです。それぞれの店舗には、実際の企業の方がボランティアで支援をいただいています。

市役所で住民税を納付したり、給料を受け取ると銀行で電子マネーカードに移し買い物をしたりします。社会と自分との関わり、経済の仕組み、お金とは何か、仕事とは何かなどを学びます。

活動は、第1第2第3ピリオドに分かれており、それぞれのピリオドで仕事と買い物を交代しながら体験をします。ピリオドが終了すると、どの企業でも社内会議が行われ、売り上げ目標を達成できたか、出来なかった理由は何かなどを話し合います。その中で子どもたちから「恥ずかしくて声が小さかった」とか、「商品を手を持って勧めてはどうか」などの意見が出されました。次のピリオドに向けて新たな売り上げ目標を設定します。第1ピリオドでは、言われたことだけをやっていた子どもたちが、何とか売り上げを伸ばそうと変わっていく姿には感動しました。みごと完売したときの子どもたちの姿が印象的でした。最後に菓匠三全では企業の方から一人一人のがんばっていたこととお話いただきました。アイリスオーヤマでは、商品が売れないからといって安易に値下げしてはいけないこと、その商品のよさを伝えることが大切だなどのお話がありました。多くのことを学んだ一日となりました。

この活動は保護者のボランティアの方にも支えていただいています。朝早くから子どもたちと一緒に活動していただき本当にありがとうございました。

